



中央図書館
近藤 悠斗
平成25年度入庁
司書

Q1 現在はどんな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

図書館連携課で、市町村立図書館や公民館図書室、学校図書館に対する支援など、県内の読書活動の推進に携わっています。

具体的には、市町村立図書館等を訪問し、運営やサービスに関する相談に応じ、調査や情報提供を行っています。

幅広い質問が寄せられるので難しい業務ですが、調査して情報提供したことが、図書館のその後のサービスに反映された時はやりがいを感じます。

Q2 千葉県を志望した理由を教えてください。

就職活動中に、千葉県内には図書館が設置されていない市町村があることを知りました。県立図書館は、住民に対する直接サービスだけでなく、市町村の図書館、公民館図書室、学校図書館への支援を行う間接サービスも期待されています。図書館、公民館図書室、学校図書館の職員に対する支援は、以前勤務していた大学図書館では、従事したことのない業務だったので、関心があり志望しました。

Q3 「司書」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

「聴く」ことが一番重要な仕事です。県立図書館のカウンターでは、利用者から様々な情報を求められるほか、市町村の図書館等職員からは運営やサービスに関する幅広い質問が寄せられます。時には相談する側も何をどう質問すれば求めている回答が得られるか悩んでいることもあります。

そんな時は、話をしっかり聴き、質問を重ね、要望を的確に把握できるよう、気軽に相談できる雰囲気づくりを心がけています。「相談して良かった。」と思ってもらえることが大切だと考えています。

Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

市町村立図書館等の職員をはじめ、専門家やボランティアなど、人とのつながりを広げて、読書活動だけにとどまらず、「知の拠点」となる図書館で働く職員として、県民の幅広い活動をサポートできる環境づくりに携わっていただければと思っています。

Q 5 受験生へ一言

現在、新しい県立図書館の建設に向けて準備を進めています。便利で魅力ある図書館を一緒につくっていきましょう。



異動経歴

H25年採用	西部図書館
H28年	東部図書館
R 2年	中央図書館

